



fukuhotkで検索

風の音



全国福祉保育労働組合東海地方本部
〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館405
TEL 052-881-2971/FAX 052-881-2998
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
発行責任者/薄 美穂子

1面…県民集会/2面…中央行動・国に要請
なかつたことにさせないキャンペーン
3面…拡大保育協/4面…秋闘労働組合講座


10月28日（日）、愛知県民集会が開催され、七百人の参加がありました。障害・医療介護・学童など各分野の話が聞けて、県民集会ならではの集会でした。学童では、制度化されたものの、自治体が、「国が決めた基準が厳しいから引き下げて欲しい」と言っていることや、名古屋市の介護認定業務が、事務センターに民間委託されたことは、初めて知ることができました。



福祉予算削るな！ 福祉を金儲けにするな！

10・28 愛知県民集会

主催：第20次愛知県民集会実行委員会



条約が実行されているのに、雇用率水増しが行われていることは犯罪だという訴え。これらの「事の重大さ」をもっと多くの人に伝えていかなければなりません。個人の尊厳が尊重されていないことや生存権が脅かされている実態が具体的に話され、怒りが湧くと共に、国や自治体に『福祉は権利』だとわからせないとけないと思います。私たち福祉保育労からは、島田執行委員が、「人材確保を口実に規制緩和が進められている。このままでは福祉保育労働者が、専門性が発揮できない。必要なのは大幅な人員増と、充分な賃金が保障できる公定価格や報酬単価の引き上げ、国の責任で予算を確保することです！」と発言してくれ、本当



にそうぞうだと握った拳に力が入りました。最後に、弁護士久野さんから、安倍首相がこの何年かで秘密保護法・共謀罪法・安保法制の強行など行ってきたことが



話され、安倍政権の横暴ぶりを改めて感じました。安倍首相は、改憲発議へ向けた動きを加速させようと画策しています。憲法9条に自衛隊を明記するなど戦争する国にしようとするのは、私たちの平和や福祉の充実を願う思いとはかけ離れています。県民集会での学びを通して、「公的福祉保育制度」の拡充、そのためにも私たち福祉保育労働者の「処遇改善」を進めることとして何より、「憲法を守り、活かされる社会を実現したい！」と強く思いました。私はどう生きていきたいのか、どんな社会を目指すのか、考え行動していきましょう。

レポーター
くさのみ保育所 岡村悦子

私は社会人三年目で、仕事も少しずつ慣れ、やりがいも感じられるようになってきました。職場内外でも徐々に役割を任せてもらう機会が増えてきて、忙しい時には四苦八苦しながらも、仕事の中で新たなことに挑戦したり、心の余裕を持って考えたりする機会ができてきました。すると気持ちの変化が、去年までは考えてこなかった『自分の将来像』について考えることが増えてきました。「早くひとり暮らししたい」「生活するためには自分の車もほしいな」「結婚もして子どももほしいな」など、理想はありつつも、実家暮らしで甘えた生活をしています。将来のための貯金も全然してない状況で、「本当に一人立ちできるかな」という不安もあります。

友だちに、一人暮らしや生活のやりくりについて聞いているうちに、ぼんやりしていたことも少しずつ見通しが持ててきました。一人前なんてまだまだ程遠いけれど、「今のうちにやりたいことをやりたい」です。自分らしさを大切に、できることからコツコツ取り組んで、仕事もプライベートも充実させた生活を送りたいと思います。

(ひろちゃん)

風の音

〜或る執行委員のつぶやき〜

福祉職員の大増員と賃金の引き上げを求め 全国の仲間と中央行動・厚労省交渉

10/25(金)、厚生労働省・内閣府との「福祉人材確保」交渉に東海から9名で参加しました。

夜間ワンオペ改善を

障害分野からはみなと分会の大川さんが発言。「何があったら不安、夜勤明けのインターバルも取れない。愛知だけじゃない、複数配置ができるように命と安全を守る対策を講じて」と訴えました。

制度の底上げ必要!

夜勤労働の、健康への影響を訴える京都の仲間から、私は、かわらまち分会で夜勤を担っている仲間の顔が思い浮かびました。しかし、「問題意識としてはある、関係部局と連携していきたい」としか回答されず、「今後現場の実態を粘り強く伝えて、国を動かさなければ」と感じました。

人材確保指針に従う

一方で、社会援護局は、

「国家公務員の福祉俸給表等を参考に適切な給与水準を確保することや週休二日制を普及し労働時間短縮に努めることとした、07年の『福祉人材確保指針』はまだ生きている」と明言。「各部局はそれについて制度政策を進めているはず」と言うものだから、「ちっともそんな制度設計になっていないじゃないか、もっと指導せよ」と会場は紛糾しました。

やる気がないのか、現場実態を政策に活かしていくつもりがないのか…。知立さくらんぼ分会の上田さんが「小規模保育事業も1歳児1対4をと言われ、努力しているのに、認可園には補助金が下りて小規模だけ仲間外れだ」と訴えました。

午後からは様々な団体と共同で行っている「憲法25条を守り活かそう中央集会」に参加しました。

現場の不満不安を拾い、分会要求を経営へ、国・自治体へ訴える大事さを感じました。

小規模保育の実態を発言

格で保育時間すべてに配置基準通りの人を置くようにシフトを組んでみてくれ、できないなら制度が未熟であることを認めて」と迫った経緯もあつたにも関わらず、それもできていませんでした。



そよ風分会 坂本陽子

そよ風分会では、まずはアンケートをとり分会で話をしました。

事業が広がり、それぞれが、個人事業主とは言いすぎですが、それぞれの事業がさまざまで、要求も多岐に渡っています。

例えば「4週6休から4週7休にして欲しい」という要求ひとつとっても、要求としては理解するけれど、

各職場・分会で

なかつたこととあせなりキャンペーン大展開を

ど、それでは仕事が回らなくなるという職種の人もあります。回らないほどの仕事量、少ない人員に任されている事が根本的問題で、矛盾をうんでいます。

分会も、子育て世代が増えたり、事業によって終了の時刻も違ったりして、なかなか集まらず、議論が深めきれない状態ではあります。

今、分会で要求項目を固めています。4週7休、施設の改修や整備、60歳以上の給与増、職種によって(看護師、相談支援専門員)は人員増、手当(被服費、研修費)の増額、などが中心です。もう少し執行部で整理し、11月には分会総会を行う要求確立に向かう予定です。

熱田福祉会 4分会

熱田福祉会分会では、11月13日に理事と各分会三役で懇談の予定です。お盆の保育についてと事務時間等の業務改善についてです。

また、のぎく分会では、二十時半までの会議について、二十時までに変更できないかであったり、また園だよりの見直し等も討議しています。

新瑞福祉会分会

新瑞福祉会分会では、子育て世代が、自分の子どもが熱を出したときなどに困る、どうしている? というような現状を話し合いました。病児保育? や看護休暇? 討議を詰めていきます。

かもめ分会

かもめ保育園分会では、「残業カレンダー」をつけて明確にした超勤時間をみて、この実態を改善し

ていこうと、要求討議を進めています。生き生きと働き続けられる職場作りを前進させていきたいと思っています。



署名も頑張ろう!!

保育中の救急について

未組織の福祉保育労働者と繋がろう企画第4弾 地域の福祉保育労働者を支える支部へ



第4弾企画

10月9日(火) 19時から、労働会館本館にて、「保育中の救急について」こんな時どうしたらいいの」と題して、保育協の拡大学習会で行いました。未組織の方に参加してもらった企画として、昨年5月の「積み木&ウッドピース」ワークショップ、9月の「わらべうた交流+運動会どうしてる交流」、今年2月の「紙芝居実践交流講座」に続く、第4弾の取り組みです。

FAXや、愛労連の総がかり・地域支部の訪問で、未加入の保育職場にお知らせの働きかけをしました。

具体的に学べた救急

当日は全体60人のうち、未加入の7職場から12名の参加があり、賑やかに学び合い、交流することができました。

日赤指導員さんの講義の中では、何度も「観察が大事」と話がありました。いつもと様子が違う

体位の仕方、擦り傷・切り傷の処置、頭を打った時、などのことを教えていただきました。また、暑い時期の

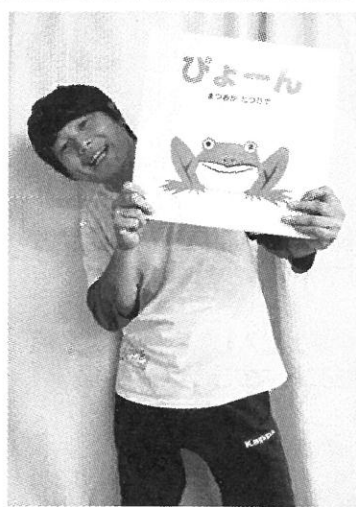


散歩について、乳幼児は輻射熱を考慮して、こまめに日陰で休憩、水分補給をしてほしいという話もありました。参加者からの様々な質問にも答えていただきました。かみつきへの対応については、傷がなく跡が残る程度のかみつきであれば、5分ほど流水で冷やすのがよいということでした。フセリンなど塗り薬なども不要とのこと。

最終責任者にはならないように、と話がありました。感想には、「かみつきで『冷え』は、してもしなくても同じだということ、ここで話したことを根拠に職場で話します！」という声などがありました。職場内では当たり前になっていることも、医療の専門家に確認し、対応を確認し直すことも必要ですね。また、保育所に、医療の専門性のある看護師さんの存在があることは非常に心強いことだと改めて実感しました。国や自治体に『看護師配置』を求めています。組合の要求活動は重要です。

ちよだ分会からの名物組合員の紹介は「竹内啓祐(通称竹ちゃん)」です。保育では、子どもたちと身体を目標い使って遊んでいるので、ジャージの膝の部分がよく破れています。それを保護者の方にツッコまれていて、憎めない人です。(笑)

本人にたくさん質問してみました。趣味:「歩くこと」ちよいちよいち時間ぐらいいは歩いてるそうです。特技:「寝ること」どこでもいつでも寝ています。



【シリーズ・名物組合員】

ちよだ分会: 竹内啓祐さん

今のマイブーム:「キウイを食べること」そうなんだあ今の仕事のやりがい:「子どもたちとの関わりがおもしろい」うん!竹ちゃんいつも楽しそう!好きな食べ物:「ソフトクリーム、プリン、れんこんうどん、カブツチョ(チョコレート)」特に嫌いなものはなさそうです。気になることがあったら本人に聞いてみてください。ちよだは少人数の職場なんですけどみんなそれぞれ頑張ってるみたいです。竹ちゃんがいるだけでちよだの雰囲気がとても楽しいものになります。時々理解しがい行動や言動があるのも彼ならではです。夏の暑い時に3枚も服を重ねて着たり、冬には8枚以上服を重ねて着ていたり、私には理解できません。(笑)まだまだ謎の深いエピソードがあるのですがここでは書ききれません...。そんな竹ちゃんの紹介でした。チャンネル

(ちよだ分会 加藤加代)

かみつきで冷やすのがよいと流水で冷やすのがよいということでした。フセリンなど塗り薬なども不要とのこと。

交流は話が尽きず

講義の後は、6、7人のグループに分かれて交流を深めました。他の園では、顔の怪我やかみつきへの対応をどうしているかなど、各グループ、話が尽きませんでした。

各支部の取り組みで

「両思いへの道」を未組織の方からは、「保育実践につながる学習と他園の状況を知ることができ、参加して良かった」と声がありました。

今後、各支部の学習会をお知らせし、地域の福祉保育労働者の要求に答え、支える支部活動で繋がっていきましょう。



大事にしていることは、複数の目で判断しないことという声が多くあり、指導員からも、

レポーター 島田幸子

地本カルトクイズ

もっと東海地本のことを知ってもらおうと出来たコーナー!

【第18回の正解と当選者】

正解

- 1問: 235人
- 2問: 消費税増税反対! 消費税を社会保障の財源にするな!
- 3問: やまびこ島田さん

当選者

大川彩子さん(みなと福祉会分会)、森菜摘さん(清明山分会)、石堂友梨さん(清明山分会)

~応募者の感想を紹介します~

定期大会の発言集を読み、現場の声が、働き方そのものにかけるきっかけになっていると感じています。政治が大切だと思いますが、まずは働いている職場からスタートし、声を出し合える組合になっていければいいなと思います。

(かわらまち分会 樋田千夏)

【第19回目カルトクイズ】

今回の「風光る」や25周年誌をよく見て答えを探してね★

第1問: 全国福祉保育労働組合東海地方本部の目的って? (25周年誌)

第2問: 保育園での子どもの「かみつき」、傷がなく跡が残る程度なら、どうするのが良い? (今月紙面)

第3問: 1/26(土)地本委員会の午前中、大切な学習があります。何についての学習かな? (今月紙面)

応募方法: 「件名」にカルトクイズと記入し、回答と、今月号を読んだ感想を一言記入してご応募下さい。

FAX: 052-881-2998

E-mail: fukuhotk@onyx.dtime.jp

全問正解者から抽選で3名の方に、地本「風光る」から

図書カード1,000円を進呈します!

応募締め切り: 12月末日まで。

当選者は、旗開き(2019年1月11日)で発表します。

18. 秋闘労働組合講座にカモン!

12月1日(土)は

「18 秋闘労働組合講座」があります。テーマは「カモンベイベー秋闘! 労働について知ろう!」です。

今年も各分会から実行委員を出してもらい、たくさんの実行委員で現場の働き方の「もやっ」とから出し合いました。

労働組合講座では、参加者が福祉・保育職場での働きを考慮されるような中身にしていきたいと考えています。愛知保育労働実態調査や、この秋闘期の「なかつたこと」についてキャ

「18 秋闘労働組合講座」は、今年も各分会から実行委員を出してもらい、たくさんの実行委員で現場の働き方の「もやっ」とから出し合いました。労働組合講座では、参加者が福祉・保育職場での働きを考慮されるような中身にしていきたいと考えています。愛知保育労働実態調査や、この秋闘期の「なかつたこと」についてキャ

カモンベイベー 秋闘!

~労働について知ろう~



ンペーン」もあって、賃金やサビ残については改善したいと思っ

ている組合員がたくさんいます。それぞれがどのようなこと

が知りたいかを話し合っているグループに分かれて話し合いを進めています。内容は、「賃金」「残業問題」「勝ち取ってきたもの」です。自分たちの労働実態はどのようになっているか、疑問に思っていることなど、他の職場の実態も聞きながら内容を詰めている段階です。これからどのように発表するか、参加者のみなさんに楽しくしゃべり学んでもらうためにはどのようなことを考えていきます。

【今後の重要日程】

- 11/17-18(土日) in東海(労働会館) 障害職場の全国交流集会
- 11/18(日) Ai青年協協会
- 11/18(日) 2020障害計画会議@栄
- 11/18(日) 最賃1500円学習講演会
- 11/25(日) Aiパ臨 元気の出る集会
- 12/1(土) 秋闘労働組合講座@本館
- 12/1-2(土日) 中央春闘討論集会&中央闘争委員会
- 12/2(日) Ai春闘討論集会@東館
- 12/13(木) 地本スト権管理委員会
- 1/11(金) 地本旗開き
- 1/26(土) AM産別最賃学習 PM地本委員会@ホール

【編集後記】

今期初の風光るです! メンバーはマイナーチェンジしました! 今期も楽しく頑張ります。読んでくださる皆さんには、見やすく、わかりやすく、楽しいをモットーに作っていきたいと思います。話は変わりますが、この頃急に寒くなりましたが、この頃ば暑かったです。すっかり秋になりました。公園に行けばど

そぶのも楽しいです。気候も良く、外出したくなりますよね。だからなのか? 地本でも活動が目白押し! みなさん、お家でゴロゴロしている暇はありませんよ! 運動がてら集会に参加してみたり、食欲の秋にみんなで語りながらご飯を食べるのもいいですね。寒くなる前にたくさん動いて蓄えちゃいましょう! 心も身体も組合活動も...

(e.m.m)



画) ふたつばし分会: 鈴木宏子

当日のグループ交流は少人数で行うようにします。「うちの常識は世間の非常識」、例年、労働組合講座のグループ交流でこんな事実が気がつく組合員がたくさんいます。是非、新人さんもベテランさんも誘い合って参加し、分会に持ち帰って春闘に活用して下さい。レポーター ぼけつと分会 森萌美